

# 週報 第3225回

会長 上田 秀朗 副会長 渡辺 万寿  
幹事 西田 佳郎 SAA 西端 政博

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津  
TEL 0725-20-1121  
例会日時 毎週金曜日 12:30 ~ 13:30



事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F  
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501  
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org  
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



## 今週の例会 (2023年11月24日) 第3225回

### ■ プログラム

クラブフォーラム

根尾 玲子 社会奉仕委員長

### ■ 次週のプログラム

12月1日: 卓話担当 白谷 喜世彦 会員

### ■ 今後の予定

- ・12月8日: クラブフォーラム  
杉本 憲一 青少年奉仕委員長
- ・12月15日: **クリスマス例会に振替休会**
- ・12月16日: クリスマス例会

### ■ 祝 誕生日

なし

### ■ 今月のロータリーソング

我等の生業

## 今月の歌

もみじ

秋の夕日に 照る山もみじ  
こいもうすいも 数ある中に  
松をいろどる 楓や蔦は  
山のふもとの 裾模様

### ■ 先週の例会



### 会長の時間

上田 秀朗 会長

皆さんこんにちは、10月17日の地区大会記念ゴルフ大会、11月11日、12日の両日にスターゲイトホテル関西エアポートで行われた地区大会本会議に参加の皆さん、本当にご苦勞様でした。ゴルフ大会も本会議もたいへん和やかで楽しい雰囲気で行われました。これも谷宗光ガバナーのお人柄に追うところ大かと思います。

何故、私が皆さんに地区大会に参加しようというのかというと、ロータリーは、親睦だ、奉仕だという前に、一期一会の人と人との出会いであると思うからで

す。記念ゴルフ大会では、昼食時に見知らぬロータリアンが向こうから声をかけてきます。「君は泉大津の方か?」、「はいそうです」と答えると、「中島パストガバナーはどうされている?」と尋ねられました。ま、この質問は、私はほぼ地区へ行くたびにされています。改めて中島先輩の偉大さに感服するばかりです。地区へ行くたびに新しい出会いがあるといいでしょう。今回も持って行った名刺、ほぼ使い切ってきました。

急遽、堺の会長を務めることになった福井 隆一郎、財団補助金でお世話になった中野 均、両パストガバナーにもご挨拶することができました。また、私が定款・細則を学んだ和歌山の石津 剛彦会員、職業は弁護士です、選挙人会議ではみごとな議長ぶりでした。晩餐会では、同じテーブルの白浜の会長から「是非、私どもへおいで下さい」と言われましたので、「はい、是非」と反射的に答えると、旅館「むさし」の女将でした。

何か、堺から和歌山の果てまで、急に顔が広くなったような気がしました。今回、残念ながら参加できなかった方は、次の機会は参加しましょう。コンサートにでも行く感覚で行けばよいと思います。

さて、本日は読書の秋にちなんでのお話です。私、かねてから読みたいが、どうしても入手できない本がありました。それは、ガイ・ガンディガーの「ロータリー通解」です。原名を「A Talking Knowledge of Rotary」といい、1916年5月号から7月号までのThe Rotarian誌に掲載された論文をまとめたもので、1916年7月開催のシンシナティ大会で採択認証を受け、クラブ管理運営のテキストとして発刊されました。これにより職業倫理の高揚を前提とした奉仕概念を確立したといわれています。

ロータリー文庫へ問い合わせをし、PDFファイルで送っていただきました。皆さんも、ロータリー関係で手に入らない本や資料があれば、お問い合わせください。メールで問い合わせをすれば、対応していただけます。

読んでみた感想ですが、ほぼすべてどこかで見聞きしたことばかりで、新しい発見や感動がありませんでした。ただロータリーって、もともとどんな団体だったのか? その原型がここにあるという意味では認識を新たにすることができます。読み進めていくといろいろ面白いことが書いてありま

す。まず、ロータリークラブは政治的態度を表明してはならない。これは、現在の定款第14条、第1節から第3節にあたります。これはマイノリティに対する配慮とも言え、何よりもクラブ内の友情を守るためであるとも書かれています。今のDEIにも通ずる考え方です。余談ですが、アメリカでは、ロータリーは共和党支持者が、ライオンズは民主党支持者が、圧倒的に多いといわれています。

また、親睦がロータリーのすべてであると誤解されているが親睦はロータリーのすべてではない、と戒めています。まあ、どうでしょうか? 親睦、私も大好きですが、たまには皆さんいいこともしましょう。

献血、こども食堂支援、港湾美化清掃と、後半奉仕活動が残されています。参加よろしくお願ひします。ロータリーができたのが1905年ですのに、1916年にはもうこんなこと心配しているんです。

あるいはまた、「ロータリアン相互の取引は、セールスの結果というよりは友情の結果であり、クラブ斡旋の結果というよりは奉仕の結果である」とも書かれています。これはどういうことかという、ロータリーで培った信用と友情が結果として仕事上の成功につながるのであり、最初からロータリーを仕事上の手段にするのではないということです。

この「ロータリー通解」の翻訳者小堀 憲助が解説の中でこのようなことを書いています。卓話は会員自身で行うことを推奨する。卓話を自分自身で行うのは職業人の代表であるロータリアンの当然の訓練であると。皆さん、前にもお話させていただきましたが、例会ではなかったかもしれませんが、安易な外部講師依頼は慎みましょう。特に営業目的としか思えないような卓話には、今後は営業経費をいただこうと思ったりもします。

「ロータリー通解」が書かれたころの職業奉仕は明らかに職業倫理向上運動です。どちらかと言えば、ビジネスに成功する方法であり、ビジネスメソッド的なものなのです。それが1927年4大奉仕の導入により、Vocational Serviceと命名されてから事情が変わってきます。Vocationは宗教用語です。天職、すなわち神の与えたまうた仕事という意味です。私はこれこそが職業奉仕の理解を難しいものにしていていると思います。ただこれについてはまだまだ考察が足りませんので、本日はこれまでということに願ひします。

## 幹事報告

西田 佳郎 幹事

- 本日皆様のメールボックスに、ロータリーの友11月号を入れさせて頂いておりますので、よろしくお願い致します。又、皆様のテーブルには、ガバナ一月信11月号を配布させて頂いておりますので、ご一読のほどお願い致します。
- 上半期会費請求書ですが、期限が来週の24日(金)となっておりますので、まだの方はよろしくお願い致します。

## 委員会報告

- 来年2月11日(建国記念日の祝日)に、泉ヶ丘CCで開催したいと思います。寒い時期ですが、皆さんどうぞ参加して下さいをお願いします。  
(道正田 均 ゴルフ同好会幹事)
- 本日例会終了後、3階のラウンジで第2回目の委員会を開催しますので、対象のメンバーの皆様、よろしくお願い致します。  
(杉本 憲一 青少年奉仕委員長)
- ロータリーの友11月号の読みどころの紹介  
(今井 克範 会報・IT委員長)

## ■ ビジター

なし

## ■ 出席報告 会員数44名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
11/17	37名	7名	—	84.09%
10/20	32名	12名	6名	86.36%

## ■ メークアップ

榎本(10/30 ワールド大阪ロータリーEクラブ)  
原(正)、南出、根尾(10/6 理事役員会)  
丹農(11/2 羽衣RC)  
川崎(10/19 和泉南RC)

## ■ ニコニコ箱

- ・植村さん、本日卓話よろしくお祈いします(上田)
- ・植村様、本日卓話宜しくお祈い致します(西田)
- ・植村様、本日の卓話宜しくお祈いします。  
山本様、足お大事にして下さい(西端)
- ・誕生日祝・そして昨日ICGゴルフコンペで優勝しました。ダブルの喜び有り難うございます(植村)
- ・誕生日御祝のお礼です。ありがとうございました  
(川端)
- ・地区大会欠席のお詫び(櫻井)
- ・例会欠席のお詫び(丹農)
- ・早退します。すみません(高寺)

ニコニコ箱合計	19,000円
累計	302,000円

## ■ 地区大会記念ゴルフ大会 入賞



渡辺 万寿 会員



前山 佳司 会員

## ■ お誕生日



泉谷 仁博 会員(17日)・道正田 均 会員(18日)  
植村 勢彦 会員(17日)



## 先週のプログラム

## 「人生は思い出作り」 一旅行編一



卓話担当 植村 勢彦 会員

私は若い頃から「人生は思い出作り」といつも思っています。ちなみに今日は私の誕生日です。この日に卓話を担当させて頂き、これも思い出になる一つです。ましてや今晩、商工会議所の議員懇親会が大阪のセントレジスホテルであり参加します。これも思い出の一つです。

思い出作りには色々有りますが、私は旅行が大好きなので沢山の思い出が有ります。とは言っても海外旅行は2020年の2月に孫たちとグアム島に行ったのが最後で、未だに海外旅行は行けておりません。この時は対岸の火事みたいで、グアム島も中国の【ゼロコロナ政策】で渡航禁止でしたのでガラガラでした。

この年はノミネーからエレクトになる年でしたので、今のうちに行ける時に行こうと、3月に友人3夫婦で韓国のソウルに2泊3日で申し込み済み、またこの年はオリンピック開催ですので、7月20日が開会式で祝日になります。なので7月の19日から10日間の日程でスペイン・ポルトガルのツアーも申し込み済みでした。最初は飛行機が飛ばないと、次はツアーそのものが中止になりました。ですから3年9ヶ月間海外には行っていません。最近では海外旅行も行ける様になりましたが、円安の影響や燃料高の影響で、旅行費用が場所によっては、2倍～3倍近くまで値上がりしています。特にハワイやグアム島等はとても上がっています。コロナ前の2020年でしたら1ドル105円～110円前後の円高でしたが、ハワイ4泊6日で、ビジネスクラスで行って、ハレクラニに泊まっても30万円前後でしたが、今年の春ごろからは、100万円位掛かるそうです。

今は再開しましたが、一時はデューティーフリーショップ

も無くなり、レストランも三分の一が無くなり、物価が高いので簡単なランチでも30ドル位かかります。日本円にして4,500円くらいです。店は潰れ閑散としたワイキキの何が面白いのか分かりませんが、日本人には人気の高いところですよ。私もハワイが大好きでしたので8回行きましたが、子供たちとの思い出に小学生、中学生、大学生と楽しく旅行していました。後半はゴルフや、ブラック・フライデーに照準を合わせてよく行きました。最近には行っていませんが、こんなに高くなっていると余計に行くのがおっくうになります。

以前の卓話は、「カナダ・ナイアガラの滝とアメリカニューヨーク」を喋りましたが、今回はインドネシアのバリ島ツアーのお話をさせて頂きます。

その前に私が旅行好きになった原点は、小さい頃によく見ていた日曜日の朝の番組で、「兼高 かおるの世界の旅」ではないかと思えます。今も「遠くへ行きたい」とか、「旅サラダ」も毎週録画して見えています。番組を見ている、「ああここに行ったなー」とか、「ええ所やなあ今度機会があれば行こうか」とか言いながら見えています。

バリ島ツアーは10回近く行っていますが、初めて行ったのが17～18年位前です。旅行会社をお願いして組んで頂いたのは、ジンバランにあるリッツカールトン(今のアヤナリゾート)2泊、ヌサドゥアのグランドハイアット2泊の4泊6日です。バリ島のツアーは意外と欲張りなツアーが多くて、ウブド2泊ヌサドゥア2泊とか、スミニャックやクタなどにもコンセプトに合わせて行くのですが、3回くらい行くと要領も分かってきますので、自分でチョイスする様になり、ネットでオーダーメイドする様になりました。よく使うのがバリ王です。

バリ島に行って一番最初に驚いたのが、バリ島のどこのホテルに入るにも、入口で厳重なセキュリティチェックがあります。ガードマンが警察犬や金属探知機で車の下等も厳重に検査を行ないます。

またホテルの敷地面積が広大です、朝のウォーキングでホテル内を1週するにも、約一時間位掛かります。ビラタイプやホテル棟等も混在しているし、チャペルや結婚式場

も有りますので、どこのホテルも広大な敷地の中に有ります。

またウブドは山の中で、棚田等有り自然を満喫する地区です。のどかで小さな街ですので、ウブドマーケット（お土産・雑貨・衣料など）・王宮跡・ブティックやレストランなどが一ヶ所に集まっていて、コンビニも一軒しかありませんし行動範囲も小さいです。観光や娯楽はモンキーフォレストでお猿さんとのたわむれや、アユンリバーやトラガワジャでのラフティングも面白いです。

そして唯一のゴルフ場が、海拔1,200メートルの高原にある、とても涼しいバリ・ハンダラゴルフ場が有ります。キャディーさんは皆男性ですが、ゴルフに精通しているので、グリーンの速さや曲がりもよく知っています。ウブドのホテル街からは、1時間ちょっと掛かりますが、行く価値はあります。ウブドのホテルは5つ星クラスが沢山あります。最初の頃は、マヤ・ウブドでした。このホテルも敷地が広大で、ビラタイプが主流でした。私は最初の頃はエステサロンに誘われても行く気にはなりませんでしたが、ここで生まれて初めてエステを体験して病みつきになりました。ラフティングやゴルフの後のエステは最高です。2時間～3時間半位のコースが主流です。フェイスシャトルリートメント・ボディースクラブ・アーユルヴェーダ・フットマッサージ・アロマセラピー等いろいろありますが、とてもリフレッシュできます。ウブドで2泊して、ヌサドゥアで2泊するツアーがほとんどでした。ウブドではその後、王宮一族が経営しているロイヤル・ピタマハに2回、フォーシーズンズにも1回泊まりました。ウブドでの朝のウォーキングは自然を楽しんで、川べりを歩いたり、木々のある山あいを歩いたりするので、1時間位はあっという間に過ぎます。部屋に帰りプライベート・プールで裸で泳いで、部屋で朝食を摂るのですが、自然の中で非日常的な体験出来るのでとても快適です。その日のスケジュールによりますが、ショッピングに出かけたり、観光に出かけたり時間つぶしに【ビデオ】を見たり、プライベート・プールや大きなインフィニティ・プールでのんびり時間つぶしします。

また夕方になればどこのホテルにも、スパにサウナや大浴場があるのでとても快適です。ウブドは山の中ですので、ホテルによっては冷蔵庫がオールインクルーシブですので、お酒を楽しくのめますがつつい飲みすぎます。ま

た夜になると大きなヤモリが【ケッコー・ケッコー】と大きく泣きますので、これもまた風情が有って良いのですが、うちの家内は気持ち悪がります。そしてホテルは山の中ですので、川のせせらぎの音を聞きながらの睡眠は、ヒーリング効果があると言われますが、私はわざわざするのが嫌いなのでいつも耳栓をして寝ています。

話はそれますが一つ参考にいいますと、先程【ビデオ】を見ながらと言いましたが、ホテルにビデオデッキ完備と書いてありましたので、蔦屋に行って観たい映画のビデオを借りて行ったのですが、映らないので技術スタッフを呼んで診てもらいましたら、周波数が違うので映らないと言われたので、フロントに行って貸し出しビデオを借りたのですが、洋画も邦画も30年位前の物しか無く、本当に最近できた5つ星ホテルかと疑いました。テレビもNHKしか見られませんし、私はテレビっ子なので、昔のビデオでも流しながらウトウトしていました。そこで皆さんにも参考になると思いますが、それからは家電量販店でブルーレイ・DVDプレイヤーを購入してリゾートに行く時は、必ず持って行くようにしています。A4位の大きさで軽いし1万円前後でそろいます。大概250ボルトまで対応しているので、どこにでも持って行けます。(延長コードは持参)家族で海外旅行に行くときは小さい子供たちや孫たちの退屈しのぎに、アンパンマンやドラえもんを映してあげたら、親も買い物に行ったり自由な時間が取れますので皆喜んでいきます。海外や日本でも連泊する時は必需品にしています。

毎年ゴルフで北海道に行くのですが、民放局は大阪と変わりませんが、たまたま今週の日、月、火と毎年恒例の宮崎のシーガイアに行ってきたのですが、民放局は2チャンネルだけです。本当にプレイヤーは助かります。

WOWOWで韓国ドラマや映画を録画して見ていると、時間も有効に活用できます。

バリ島ツアーは、だいたいウブドで2泊・ヌサドゥアで2泊のパターンが多いのですが、最近はヌサドゥアだけになっています。と言うのはウブドに行くのに片道2時間位はかかりますので、時間の有効利用が出来る様にワンウェイにしています。最初の頃は今のアヤナリゾート・ヌサドゥアのグランドハイアット、コンラッドホテル、ムリアバリ、今はリッツカールトンが多いです。何処に泊まっても値段はあまり変わりません。

スミニャック地区のビーウィラ+スパ。クタ地区のシェラトン・バリ等色んな所に2泊ずつ泊まって来ましたが、一番便利なホテルはヌサドゥアのグランドハイアットです。

ホテルも広いですし、プライベートビーチも広いですが、今はコロナの影響で閑散としているみたいですが、当時はホテルの目の前には大型ショッピングモールのバリ・コレクションがあります。小さいですが日本のデパートSOGOも有り、シーフード・レストランやイタリアン・中国・韓国料理店のワールドレストランが沢山あります。横に広いのでお土産店やコンビニやココスーパーも有り不自由しません。

ちなみにバリ島は個人ツアーが多いので、空港からホテルに行くまでにコンビニに寄って、ビールとかを買うのですが、ガイドにコンビニに寄る様をお願いしますと、「OKサークルケー」とイントネーションが違うので何回も聞き直したら、皆さんも知っている日本では「サークルK」のことでした。

そしてエステなんですけど、ホテルのエステは最終日にするので外のエステサロンにもよく行きます。ウブドではロイヤルキラナ・スパ、マンゴツリー・スパ。ヌサドゥアではタイ式マッサージはラビィ。エステはフランジパニとサクラスパとテタスパ。スミニャックではプラナスパ、他にも色々行きましたが、今紹介した所は技術的に安定している所です。料金も1万前後でとても安いです。特にプラナスパで初めて受けた、アーユルヴェーダのシロダーラは、こめかみに温かいオイルを15分~20分位垂らします。最初は神経くさいなあと思いましたが、だんだんと頭の中がボヤーンとしてきて、脳の中をマッサージしているみたいで何とも言えない経験でした。他にも色んなメニューがありますが、主にボディースクラブやフェイスシャトルートメントそしてアロマセラピーです。私はしませんが【ヘッドスパ】等もあります。一度経験したら病みつぎになります。最終日のホテルでのエステは部屋もゴージャスですし、技術もとても上手です。エステをする前は必ずスパに入って全身を整えてから行きます。皆さんも一度試して下さい。

ヌサドゥアのレジャーに関しては、マリンスポーツは色々ありますが、私はゴルフをメインにエントリーします。ヌサドゥアにはバリ・ナショナルゴルフやニュークタ・ゴルフがあります。いつも初日と最終日の2ラウンドプレイに、送迎付きプランを選びネットでエントリーします。中1日はビー

チやプールに入っただけのんびりします。最初は朝の早い時間を指定してきますが、私はもっと遅い時間を指定してお昼前の11時位のエントリーでお願いします。スループレイですが、朝の早い時間でも結局は炎天下でプレイするので、モーニングをゆっくり食べてのんびりしてから出発します。それでも4時位にはホテルに帰って来ますので、プールに入って身体を冷やしてのんびりしてから、夕方にスパに行き行ってサウナに入って身体を整えます。それから冷たいビールを飲んでからディナーに行きます。場所によりますが、便利のいい所は外のレストランで食べたりもしますが、イタリアンレストランが食べやすいです。ホテルのビュッフェスタイルもまあまあいけますが、私はインドネシア料理の香辛料やスパイスが合いません。でもナシゴレンはたまに食べます。

バリ島の基本情報ですが、関空から直行便で片道7時半位掛かります。日本との時差は1時間で、日本の12時はバリ島の11時です。10月~3月迄は雨季で4月~9月は乾季です。私はいつも日本の梅雨時期に行きます。雨季と言っても日本の梅雨と違って、ザ~と降って直ぐに止むスコールです。不思議なことに夜中に結構降って朝方に止むパターンが多いです。貨幣価値が低いので当時は日本の1万円は130万ルピアになります。(今は円安なので100万ルピア位)いつも最初に5万円位両替するので、お札の多さに金持ちになった気がします。バリ島には東南アジアだけでなく欧米人も多いです。特にオーストラリアからは3時間で来られますので、とても多いです。最初の頃はイミグレーションもスイスイでしたが、時間帯によれば30分~1時間くらい掛かる時もあります。コロナ禍以降は行っていませんが、今は関空からは直行便が出ていなくて、シンガポール経由かマレーシアのクアラルンプールかフィリピン経由しかないので、トランジットで3時間位掛かり(約11時間掛かる)着いたら夜遅くになります。とても疲れると聞いています。料金も以前の倍掛かるそうです。私は直行便が出るまで行かないつもりですが、先日旅行会社に聞きますと当面は出る予定は無いらしいです。私は直行便が出るまで行きませんが、今はマイクロツーリズムで国内旅行を楽しみます。